

◆耐薬品性能表

物質名	工法	VE	SV	SVP	SVG	SVN	物質名	工法	VE	SV	SVP	SVG	SVN
有害物質 *本法改正の規制対象							14 MTBE		—	—	—	—	△
1 カドミウム及びその化合物		◎	◎	○	○	○	15 硫酸 *濃度に制限有り		◎	◎	○	○	◎
2 シアン化合物		◎	◎	○	○	○	16 ホスゲン		◎	◎	○	○	○
3 有機リン化合物(パラチオン・メチルパラチオン・メチルジメトン・EPN)		◎	◎	○	○	○	17 1,2-ジクロロプロパン		—	—	—	—	△
4 鉛及びその化合物		◎	◎	○	○	○	18 クロルスルホン酸		—	—	—	—	△
5 六価クロム化合物		—	—	—	◎	—	19 塩化チオニル		—	—	—	—	△
6 ヒ素及びその化合物		◎	◎	○	○	○	20 クロロホルム		—	—	—	—	△
7 水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		◎	◎	○	○	○	21 硫酸ジメチル		◎	◎	—	—	○
8 ポリ塩化ビフェニル		◎	◎	○	○	○	22 クロルピクリン		—	—	—	—	△
9 トリクロロエチレン		—	—	—	—	△	23 ジクロロボス又はDDVP		◎	◎	○	○	○
10 テトラクロロエチレン		△	△	—	△	◎	24 オキシデプロホス又はESP		◎	◎	○	○	○
11 ジクロロメタン		—	—	—	—	△	25 トルエン		—	—	—	—	◎
12 四塩化炭素		—	—	△	—	◎	26 エピクロロヒドリン		—	—	—	—	△
13 1,2-ジクロロエタン		—	—	—	—	△	27 スチレン		—	—	—	—	◎
14 1,1-ジクロロエチレン		—	—	—	—	△	28 キシレン		—	—	—	—	◎
15 1,2-ジクロロエチレン		—	—	—	—	△	29 パラ-ジクロロベンゼン		—	—	—	—	◎
16 1,1,1-トリクロロエタン		△	△	—	—	◎	30 フェノバルブ又はBPMP		◎	◎	○	○	○
17 1,1,2-トリクロロエタン		△	△	—	—	◎	31 プロピザミド		◎	◎	○	○	○
18 1,3-ジクロロプロペン		—	—	—	—	△	32 クロロタロニル又はTPN		◎	◎	○	○	○
19 チウラム		◎	◎	○	○	○	33 フェントロチオン又はMEP		◎	◎	○	○	○
20 シマジン		◎	◎	○	○	○	34 イプロベンホス又はIBP		◎	◎	○	○	○
21 チオベンカルブ		◎	◎	○	○	○	35 イソプロチオラン		◎	◎	○	○	○
22 ベンゼン		—	—	—	—	◎	36 ダイアジノン		◎	◎	○	○	○
23 セレン及びその化合物		◎	◎	○	○	○	37 イソキサチオン		◎	◎	○	○	○
24 ホウ素及びその化合物		◎	◎	○	○	○	38 クロルニトロフェン又はCNP		◎	◎	○	○	○
25 フッ素及びその化合物		◎	*有機繊維仕様				39 クロルピリホス		◎	◎	○	○	○
26 アンモニア・アンモニウム化合物 ・亜硝酸化合物及び硝酸化合物		◎	◎	△	△	△	40 フタル酸ビス		◎	◎	○	○	○
27 塩化ビニルモノマー		—	—	—	—	△	41 アラニカルブ		◎	◎	○	○	○
28 1,4-ジオキサソ		—	—	—	—	△	42 クロルデン		—	—	—	—	△
指定物質							43 臭素		—	—	—	—	△
1 ホルムアルデヒド		◎	◎	—	—	○	44 アルミニウム及びその化合物		◎	◎	○	○	○
2 ヒドラジン		—	—	—	—	△	45 ニッケル及びその化合物		◎	◎	○	○	○
3 ヒドロキシルアミン		—	—	—	—	△	46 モリブデン及びその化合物		◎	◎	○	○	○
4 過酸化水素		◎	◎	—	—	○	47 アンチモン及びその化合物		◎	◎	○	○	○
5 塩化水素		◎	◎	○	○	○	48 塩素酸及びその塩		◎	◎	—	—	○
6 水酸化ナトリウム		◎	◎	—	○	○	49 臭素酸及びその塩		◎	◎	—	—	○
7 アクリロニトリル		—	—	—	—	△	50 クロム及びその化合物 (六価クロム化合物を除く)		◎	◎	○	○	○
8 水酸化カリウム		◎	◎	—	○	○	51 マンガン及びその化合物		◎	◎	○	○	○
9 アクリルアミド		—	—	—	—	◎	52 鉄及びその化合物		◎	◎	○	○	○
10 アクリル酸 *濃度に制限有り		◎	◎	—	—	◎	53 銅及びその化合物		◎	◎	○	○	○
11 次亜塩素酸ナトリウム		◎	◎	—	○	○	54 亜鉛及びその化合物		◎	◎	○	○	○
12 二硫化炭素		—	—	—	—	△	55 フェノール類及びその塩類		—	—	—	—	△
13 酢酸エチル		—	—	—	—	△	56 ヘキサメチレンテトラミン		◎	◎	—	○	○

◎：推奨 ○：使用可 △：一時的な滞留可(2週間以内) —：使用不可
 高濃度の薬品、混合された薬品、加温された薬品、上記以外の薬品をご使用の場合はお問い合わせください。
 試験値・実績値に基づく性能評価であり保証値ではありません。
 ご使用に際しては環境液に浸漬し耐性をご確認されることをお勧めします。